

「安全な医療を提供するための10の要点」について

平成13年9月11日

医政局総務課医療安全推進室

医療安全対策検討会議ヒューマンエラー部会において検討された医療安全に関する標語：「医療を安全に提供するための10の要点」は、本日開催されました同検討会議での意見を踏まえ、同部会として最終決定しましたのでお知らせいたします。

本標語は、医療機関のすべての職員を対象に、医療の安全確保のために基本となる理念、方針などを簡潔にまとめたものです。それぞれの医療機関において、その特性に応じた独自の標語が作成できるように、報告書には標語の他、策定方針、検討方法、標語ごとの解説、活用方法、参考資料などを記載しております。

なお、今秋(11月25日～12月1日)実施される医療安全推進週間にて、全国の医療従事者へ向けた意識啓発のためのポスターやパンフレット、研修テキストなどに掲載し、周知を図っていく予定です。

<資料>

「安全な医療を提供するための10の要点」報告書

参考資料1：医療機関等より収集した標語の内訳

参考資料2：医療機関等より収集した標語の特徴

参考資料3：先進諸国や他産業における標語例

「安全な医療を提供するための10の要点」 について（報告）

医療安全対策検討会議ヒューマンエラー部会は、「医療従事者のための患者安全十箇条（仮称）」（簡便な標語集）の策定を検討事項の一つとしている。

具体的な標語を策定するため、「患者安全のための標語検討会（以下「検討会」という。）」が、部会のワーキンググループとして設置された。（委員は別紙1のとおり。）

今般、当検討会において作成した素案をもとに、9月3日の部会における議論を踏まえ、部会としての標語を策定したので、下記のとおり報告する。

記

1. 策定方針

- (1) 医療機関で働くすべての職員を対象とする。
- (2) 職員が業務を遂行するに当たって、医療の安全を確保するために基本となる理念、方針などを、分かりやすく覚えやすい簡潔な表現でまとめたものとする。
- (3) この標語をもとに、それぞれの医療機関において、その特性などに応じた独自の標語が作成できるよう、策定方針、検討方法、標語ごとの解説、活用方法、参考資料などを併せて提供する。

2. 検討方法

(1) 医療機関等における既存標語の調査

医療機関等における既存の標語を収集し、その分析及び分類を行うことにより、標語に盛り込むことが適当な内容をキーワードとして抽出した。（参考資料1～2）

(2) 先進国や他業界の取組の調査

医療安全に関する先進国の取組や他業界での取組について調査を行い、その基本的な考え方などについて検討した。（参考資料3）

(3) キーワードの選定と標語の作成

それぞれの調査により整理された内容をもとに、医療の提供方法や医療機関の組織体制等を検討した結果、医療における安全管理体制の重要なポイントとして、A. 理念、B. 患者との関係、C. 組織的取組、D. 職員間の関係、E. 職員個人、F. 人と環境・モノの関係、という6分野が考えられる。

この6分野において、特に重要なものとしては、①安全文化、②対話と患者参加、③問題解決型アプローチ、④規則と手順、⑤職員間のコミュニケーション、⑥危険の予測と合理的な確認、⑦自己の健康管理、⑧技術の活用と工夫、⑨与薬、⑩環境整備、の10項目があげられた。

「安全な医療を提供するための10の要点」は、この10項目について、分かりやすく覚えやすい標語としてまとめたものである。

安全な医療を提供するための10の要点

- ① 根づかせよう安全文化 みんなの努力と活かすシステム
- ② 安全高める患者の参加 対話が深める互いの理解
- ③ 共有しよう 私の経験 活用しよう あなたの教訓
- ④ 規則と手順 決めて 守って 見直して
- ⑤ 部門の壁を乗り越えて 意見かわせる職場をつくろう
- ⑥ 先の危険を考えて 要点おさえて しっかり確認
- ⑦ 自分自身の健康管理 医療人の第一歩
- ⑧ 事故予防 技術と工夫も取り入れて
- ⑨ 患者と薬を再確認 用法・用量 気をつけて
- ⑩ 整えよう療養環境 つくりあげよう作業環境

(4) 検討の経緯

別紙2のとおり

以上

「患者安全のための標語検討会」名簿

- 大井利夫 上都賀厚生連上都賀総合病院 名誉院長
- 大石洋司 練馬総合病院 事務長
- 白石三智 日本看護協会医療・看護対策室
- 田浦和歌子 武蔵野赤十字病院 リスクマネジャー
- 田上 豊 三菱総合研究所 主席研究員
- 寺井美峰子 聖路加国際病院 リスクマネジャー
- 橋本真也 横浜市立大学市民総合医療センター 物品担当係長
- ◎ 橋本 廸生 横浜市立大学医学部医療安全管理学 教授
注) ヒューマンエラー部会委員
- 平林明美 横浜市立大学医学部附属病院 リスクマネージャー
- 福留はるみ 聖母女子短期大学 講師
- 松月みどり 日本大学医学部附属板橋病院看護部 婦長
注) ヒューマンエラー部会委員
- 三宅祥三 武蔵野赤十字病院 副院長
注) 総会、ヒューマンエラー部会委員
- 山内隆久 北九州市立大学文学部 教授
注) ヒューマンエラー部会委員

(五十音順)

「安全な医療を提供するための10の要点」策定の経緯

6月28日 第1回 ヒューマンエラー部会

- 標語の策定方針について
- ワーキンググループの編成について

7月10日 第1回 事前打ち合わせ

- 今後の作業について
- 医療機関等における既存標語の調査方法について

8月 8日 第2回 事前打ち合わせ

- 医療機関等における既存標語の収集結果について

8月16日 第1回 患者安全のための標語検討会

- 標語作成の基本的考え方について
- 医療機関等における既存標語の分析、他業界等の取組について

8月20日 第2回 患者安全のための標語検討会

- 標語のキーワードとなる内容について
- 標語(案)について

8月30日 第3回 患者安全のための標語検討会

- 標語(案)について
- 報告書(案)について

9月 3日 第2回 ヒューマンエラー部会

- 標語(案)について

9月11日 第3回 医療安全対策検討会議

- 標語(案)総会報告



9月11日 ヒューマンエラー部会決定